

# 地域医療連携新聞

発行/朝日大学村上記念病院(地域医療連携室)  
岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL.058-253-8001(代)  
TEL.058-253-8920(直) FAX.058-253-8910(直)

## 最近の話題・トピックス

### 『肺癌に対する個別化治療の可能性—分子標的治療の新展開—』

呼吸器内科 栗林 康造

肺癌は、我が国および欧米先進国における癌患者の死亡の中で最も多く、更に5年生存率は20%以下と極めて不良な難治癌とされています。その要因として、肺癌は早期発見が困難なことに加えて、治療率を劇的に向上させる治療法の進歩が遅れていることが挙げられます。肺癌の治療選択として、根治可能な早期肺癌の外科治療が最優先であることは現在も変わりませんが、肺癌は発見された時点で手術不能な進行癌である場合が多いため、これまでの治療目的は延命と症状緩和のいわゆるPalliative therapyの域にとどまざるをえなかったのが現状です。これまでの肺癌の治療は小細胞癌と非小細胞癌(NSCLC)に大別され、NSCLCには扁平上皮癌、腺癌、大細胞癌、その他が含まれますが、組織型によって治療内容による効果に大差がないことから、NSCLCとして一括して治療方針が立てられてきました。即ち、切除不能進行NSCLCに対する一次治療(first-line)としては、化学放射線治療、またはプラチナ製剤を中心とした2剤併用化学療法が標準治療として、全ての組織型を対象に実施されてきました。

一方、1980年頃からの、分子生物学の進展により、癌の増殖、浸潤、予後に関連する分子が明らかとなり、それらの分子を狙い撃ちして機能を抑えることにより癌を治療する、いわゆる分子標的治療が注目されるようになり、それらについての最近の研究開発成果は目覚ましいと言えます。分子標的治療は、従来の抗癌剤で叶わなかった進行癌や肺癌のような難治癌の克服に向けた有効な手段として、また患者個人に最適な治療を施す個別化医療を実現する手段として開発が進められ、癌治療も新しい段階を迎えるようになりました。肺癌の領域で最初の分子標的治療薬となったのは、上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害薬(EGFR-TKI)のゲフィチニブとエルロチニブです。ゲフィチニブについては、我が国でも早期に臨床試

験が開始され、2002年に世界に先駆けて承認されました。臨床試験の成績から、EGFR-TKIは腺癌、女性、非喫煙者、日本人(アジア人)に効果が高いことが示されていましたが、更に2004年になりEGFR-TKIの有効な症例ではEGFRチロシンキナーゼ領域に遺伝子変異(mutation)が認められ、効果予測因子の可能性が示唆されました。加えて、決定的な成果となったのが、アジア人、非〜軽喫煙者、腺癌を対象とした、first-line治療としてのゲフィチニブと標準化学療法(カルボプラチン: CBDCA/パクリタキセル: PAC)の無作為化比較試験(IPASS: Iressa Pan Asia Study)でありました。この試験は我が国を含む東アジア9ヶ国が参加して行われ、EGFR遺伝子変異陽性の患者ではゲフィチニブ群が化学療法群に比べて無増悪生存期間(PFS)が有意に優れているが、EGFR遺伝子変異陰性の患者では逆にCBDCA/PAC群のPFSが有意に良好であることが示されました。この結果から、肺癌の治療はEGFR遺伝子変異の有無によって規定されることになり、NSCLCの治療アルゴリズムが変更されることとなりました。2009年には血管新生に関連する血管内皮細胞増殖因子(VEGF)のモノクローナル抗体であるベバシズマブが登場し、従来の標準的治療法に追加することによりPFSあるいは全生存期間(OS)を延長することが示されました。なお、ベバシズマブは肺出血の毒性の関係から、NSCLCの中でも非扁平上皮癌に限られています。

また最近、新しい癌遺伝子EML4-ALK融合遺伝子が発見され、NSCLCの5%程度にEML4-ALK遺伝子陽性肺癌が存在することが明らかにされました。そして、EML4-ALK遺伝子のチロシンキナーゼ阻害薬が開発され、EML4-ALK遺伝子陽性肺癌に高い有効性が見られることが報告されています。EML4-ALK遺伝子陽性肺癌とEGFR遺伝子陽性肺癌は重複しないことも知られており、各々新しい治療マーカーとありうることを示されています。

このように、分子標的治療薬の開発、治療の有効性を規定する分子マーカーの研究により、肺癌、特にNSCLCでは真の個別化医療の時代を迎えるようになってきています。当院においても、呼吸器内科のリニューアルに伴いまして、時代の流れに合わせて肺癌の個別化医療が可能でありますので、お困りの症例などございましたら、お気軽に御相談下さいませよう、よろしくお願い致します。

村上記念病院

直通電話番号

脳卒中 **ホットライン** 070-6583-6677

脳卒中治療は一刻を争います。当院では  
専門医が速やかな診断・治療を行います。

### ＜研修会等のご案内＞

#### 第21回 開放型病床研修会

日時 平成23年8月25日(木)

午後7:30~9:00

場所 8階 講堂

### ＜休診のお知らせ＞

休診日… 8月15日(月)

### 新任医師のご紹介



整形外科  
助 教 山 賀 篤  
(7月より赴任)



整形外科  
助 教 塚 田 誠  
(7月より赴任)



循環器内科  
専 攻 医 三 輪 裕 高  
(8月より赴任)



消化器内科  
助 教 森 本 泰 隆  
(8月より赴任)



腎臓内科  
専 攻 医 泉 久 美 子  
(8月より赴任)



# 診療医のご案内



(平成23年 8月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	加藤(隆)	下村 (非常勤)	大洞	高野	宮脇 遠藤
	予約診	小島	大洞	小島	加藤(隆)	奥田	加藤(隆)
	予約診	森本	高野	宮脇	伴	福田	—
	予約診	—	遠藤	—	—	—	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		三輪	大野 (腎臓内科)	三輪	松岡 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	泉	—	大橋
糖尿病・内分泌内科		猿井 —	武田 猿井	武田 佐々木	猿井 佐々木	猿井 武田	武田 佐々木
呼吸器内科		野木	栗林	舟口 (非常勤)	三上	栗林	三上
外科		森	久米	久米	中嶋	川部	担当医
		上田	川部	(上田)	森	中嶋	山本 (第2・4週目)
乳腺外科		榎木 細野	細野	安部 (非常勤)	細野	榎木 細野	細野 (予約制)
脳神経外科		石澤	郭	山下	石澤	安藤	郭
		安藤	加納 辻本	安藤	辻本	—	加納 山下
整形外科	初診	日下・河合	青芝/山賀	塚田	後藤(毅)	前田	担当医
	予約診	—	—	前田	河合	大友	—
	予約診	—	今泉	日下	山賀	日下	今泉 (第1・3週)
	予約診	後藤(毅)	塚田	青芝	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	初診	高橋	矢田	矢田	矢田	奥村 (非常勤)	矢田 (1・3週目)
	1診	堀尾	奥村 (非常勤)	磯部 (非常勤)	堀尾	高橋	高橋 (2・4・5週目)
泌尿器科		江原	伊藤 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	—	安田 (非常勤)	藤本	藤本	—
歯科・口腔外科		村松・本橋 —	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村・本間	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村

【ご案内】 ①診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)

②年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。